

当別 高校

PTAだより

第109号

発行

当別高等学校PTA

TEL 0133-23-2444

FAX 0133-23-2380

令和六年度入学式挙行



四月八日、本校体育館において令和六年度入学式が挙行されました。この式典には、三学科合せて八十一名の新入生が出席し、保格校長より入学の許可を受けました。

入学式にご臨席の来賓を代表して、当別町長後藤正洋様から祝辞をいただきました。

「皆さんは、新しい生活に向けて希望に満ち溢れていることでしょう。そして、同じ気持ちでこの日を迎えている仲間たちは、これから苦楽を共に分かち合えるかけがえのない友達となるでしょう。高校生活の三年間はあつという間に過ぎていきますので、勉強や部活動、ボランティア活動や芸術・文化活動に全力で励んでください。これらの活動は、皆さんのこれから的人生の中で必ず貴重な財産となるはずです。悔いのない楽しい高校生活となります事を切望しております」と、ご自身が本校の卒業生であり、前同窓会長でもあることから、温かな激励と高校生活を有意義なものにすることへの期待を込めて祝辞を締めくくられました。(総務・澤田石)

北海道当別高等学校PTA会長 酒井陽子

日頃より当別高校のPTA活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

今年度会長を務めさせていただくことになりました酒井陽子と申します。微力ではありますが、子どもたちのために精一杯努力してまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

PTA活動は、役員だけでは難しく、先生方、保護者の皆さんの協力があつて、初めて円滑に行われるものと思います。

今後の学校行事、PTA活動に参加していただき、多くの保護者の皆様と共に、子どもたちに寄り添いながら成長を助けていけたらと考えています。

最後に、本校のPTA活動へ、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げ挨拶とさせていただきます。

北海道当別高等学校長

保格秀規

令和六年度、八十一名の新入生を温かく迎え、当別高校は新たな活気に溢れています。

本校は、「街を教室とする」地域探究学習による生徒の成長・成果を高く評価いただき、地域の学校へ対する好感も高まっています。

本校は、「楽しく学ぶ当別高校」の実現を目指していますが、これには生徒、教職員、保護者、地域が手を取り合い、これからも協働して、新しく高い教育水準へと向上に努めることが重要で

す。教職員一同、生徒たちが夢に向かって輝けるよう、一人ひとりの成長を見守り、お子様たちの可能性を最大限に引き出す教育を提供してまいります。

今後も皆様との連携を大切にし、共に当別高校の更なる発展に努めて参ります。引き続きのご支援を、心よりお願い申し上げます。

第73回北海道高等学校PTA連合会大会北見大会に参加して

去る六月八日(土)、九日(日)、酒井PTA会長、保格校長、武田教頭の三名で参加しました。

大会主題「新時代を開く若者とともに支えよう」本音の語らいから生まれるPTAの活力のもと、学校や家庭、地域のつながりでウェルビーイングの向上を目指すことをねらいとしています。

全体講演は、北見北斗高校出身の「産婦人科専門医・タレント」の丸田佳奈氏が「北海道の若者が全国で活躍する未来への期待」地方出身を長所に！と題して、「目的を明確にした人生設計が学びのモチベーションで重要である」「時代変化で指導者が厳しい指導をできなくなり、学習者が自らを厳しく導く時代になっていること」を「自身の体験から話されました。分科会「PTA活動」では、学校の生徒指導や進路指導へPTAがどう協力するかについて、参加各校から情報交流を行い、今後のPTA活動について貴重なアイデアを得られました。(校長)



第70回当高祭 「流星群」開催！ PTA模擬店が復活！



去る七月二十日(土)に子供たちと共に学校祭を楽しみたいとPTA有志二十名が集まり、焼き鳥、いもち、フランクフルト、ジュース、かき氷の模擬店を出店しました。

当日は三十度を超える猛暑日で、テントの中は炭火の熱気も加わり、汗だくではありませんでしたが、生徒や教職員、来校者の長蛇の列と購入いただいた方の笑顔に励まされ、終始楽しく活動することができました。

有志の参加者からは、ぜひ来年も出店したいとの声が上がりました。「苦勞様でした。」

(総務・高橋)

「いのちの講演会」開催

去る十月四日、「いのち咲かせたい代表・助産師」山本文子氏による「いのちの講演会」を開催しました。

遠く香川県からお越しくださった山本講師は、北海道大学で助産師の資格を取得し、六十年間、東京都、茨城県、香川県の現場で勤務の傍ら、四十年間全国の小中高で講演され、厚生大臣賞を受賞されています。



山本講師は、飾らないストレートな表現で、「いのちは温かい」「愛すること、愛されることの素晴らしさ」「喜ばれて生まれてきた自分の尊さを、知ること」を熱く語りました。

この貴重な機会を得た当別高校生の感想文には、「自分のいのち、相手のいのち、新しいいのちをしつかり大切にしたい」「今回の講演を聴いて一人一人のいのちが輝いて見えるようになった」との言葉からも伺えるように、いのちの尊さや温かさについて、生徒と共に共有できました。また、私たち教職員にとっても大変有意義な時間となりました。

昨今、色々な事件を耳にして心が痛みますが、この度の講演会により、生徒は本校の学校教育目標「敬愛」に向けた心の成長ができたのではないかと思います。

(総務・鈴木)

令和六年度 教職員の異動

古主 信 教頭	4年間勤務	千歳北陽高校 教頭へ
松田 行矢 教諭	8年間勤務	千歳北陽高校 国語科教諭へ
足達しずか 教諭	7年間勤務	千歳北陽高校 家庭科教諭へ
西森 由佳 教諭	4年間勤務	稚内高校 国語科教諭へ
荒 忍 教諭	9年間勤務	有朋高校 体育科教諭へ
田中 和幸 教諭	9年間勤務	岩見沢農業高校 数学科教諭へ
堀内 佳代 専門主任主事	6年間勤務	勸奨退職
土居 智 専門主任主事	10年間勤務	有朋高校 専門主任主事へ

武田 幹弘 教頭	壮警高校 教頭から	農業
小倉 愛花 教諭	札幌大学卒業から	1年E組副担任・国語
穂田 玲子 教諭	江別第一中学校 教諭から	3年E組副担任・国語
中村 俊樹 教諭	枝幸高校 教諭から	2年学年付・数学
加藤 正一 教諭	岩見沢西高校 教諭から	2年学年付・数学
高橋 和希 主任主事	紋別高等養護学校 事務職員から	事務室
熊谷百合子 時間講師		音楽
勝山 華子 時間講師		家庭

転出

転入

編集後記

まずは、この度、PTAだより109号の発行が遅れたこととお詫び申し上げます。PTAだよりの在り方、内容の見直しの検討を行い、今回PDFでの提供となりました。予算や発行形態等について、今後も検討を重ねながら、気軽に参加しやすいPTA活動を探って参ります。今後ともご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。(PTA総務)